

学校教育目標	「わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども」 ○すすんで学習に取り組み、基礎・基本を身に付け、豊かにコミュニケーションを図る力を育てます。(知) ○人を思いやる心もち、互いに支え合う態度を育てます。(徳) ○運動やスポーツに親しむ態度と、心身ともに健康でたくましく生きる力を育てます。(体) ○私たちのまち「新羽」を愛し、地域や社会のために自らできることを実践しようとする態度を育てます。(公) ○自分を見つめ、多様性を受け入れ、共に生きていこうとする態度を育てます。(開)				
	創立 47 周年 児童生徒数: 419 人	学校長 佐藤 恵子 主な関係校: 新羽中学校	副校長 浅川 聡子	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	新羽中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーション能力> <持続可能な社会に貢献する力>	新羽中学校 新羽小学校	人との豊かなコミュニケーションを通して、自他を認め、互いに高め合う子ども 社会に積極的に貢献しようとする子ども ①授業参観や合同職員研修を通して、児童生徒理解を深め、指導観を共有する。 また、児童生徒交流を活性化させ、小から中へ教育の円滑な接続を図る。 ②人との豊かな関わりをテーマにした人権教育や教科指導の研究を進める。 ③小中それぞれで行う地域連携活動について共有し、身近な社会を題材にした学習活動を教育活動に取り入れ、地域への愛着や未来社会への関心を高める。

中期取組目標 ○安心・安全な学習環境のもと、子ども一人ひとりを大切に、対話的な学びの充実を図ります。 1年目・・・学ぶ楽しさを実感でき、自分の考えを相手に伝える力の育成を目指して授業改善を図ります。 2・3年目・・・異学年間交流や学年ブロック全体での交流など、豊かな人との関りの中で、自他を尊重し合い、自分の考えを深める活動の充実を図ります。 3年間を通して・・・学校・家庭・地域が協働で子どもの成長を支える温かな風土の中で、地域の教育力を積極的に学校教育に取り入れ、多様な人と触れ合う機会を充実させます。

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 担当 重点推進委員会・評価委員会	①重点研究テーマをもとに、主体的に学ぶ態度と育てたい資質・能力を中心にした授業改善を進める。 ②学習状況調査結果を共有し、課題に沿った学習指導を工夫する。 ③デジタル教材の効果的な使い方について研究し、資質・能力の向上に役立てる。
徳 道徳教育 担当 道徳部・人権教育担当	①児童の実態に適した題材選定、対話的な学習形態など、道徳科の授業改善に努める。 ②人権週間に、命や個性について考え互いを認め合う学習活動を行う。 ③誰もが安心して学習できる、温かで共感的な学級集団をつくる。
体 健康教育 担当 体育部・保健体育部	①さまざまな学習活動を通して、食の大切さや規則正しい生活など、健康に生きていくための基本的な知識や習慣を身に付けさせる。 ②体育的行事や授業において指導改善を図り、誰もが目標をもって主体的に運動に取り組めるように努める。
公開 自分づくり 担当 生活総合部 特活部	①地域の材の活用や外部講師と連携した授業を通して、自分を取り巻く社会への興味関心を高める。 ②人との豊かな関わりを通して、多様な考え方・生き方に触れる学習の充実を図る。 ③一人ひとりが自己の目標と役割を意識し、協働で創り上げる学習活動の充実を図る。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①日常の児童対応や研修等を通して、職員のいじめへの感度を高め、積極的な認知に努める。 ②児童や保護者と信頼関係を築くとともに、何でも相談しやすい風土をつくる。 ③関係機関と積極的に連携しながらチーム学校で問題解決に取り組む。
人材育成・ 組織運営(働き方) 担当 教務部	①重点研究テーマをすべての教科で実践し、授業力と学級経営力の向上を目指す。 ②学年での教科分担、チームでの児童指導体制づくりを通して、学年やブロックのチームワークを高める。 ③業務内容の見直しや効率のよい働き方について議論を継続し、自校に適した持続可能な学校運営を目指していく。
児童生徒指導 担当 児童指導委員会	①日常の見守りと声掛け、児童とのコミュニケーションを通して、児童理解を深め信頼関係の構築に努める。 ②迅速な報告・連絡・相談とチーム対応を基本に、トラブル等については早期解決に努める。 ③チームで学級を支えることを基本とし、児童支援専任を中心に教員間の支援体制を整える。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①個に応じた支援の充実のために、保護者や関係機関と積極的に連絡相談を図る。 ②個別の支援計画・指導計画を活用し、教職員が共通理解をもって一貫した支援・指導を行う。 ③「わかる授業」「主体的な学び」への手だてとして、学級経営や授業づくりのユニバーサルデザイン化を進める。
保護者・地域連携 担当 学校地域連携部	①定期的な授業公開日の設定など、保護者・地域に学校教育の理解を促す。 ②地域を活用した学習活動の学習効果をさらに上げるため、早めの計画・組織的な運営を図る。 ③学校地域コーディネータを窓口とした、持続可能な地域連携の形を構築する。
安全管理 環境整備 担当 保健・安全・防災担当	①教職員の危機管理意識を高めるため、関連事案の共有を積極的に行う。 ②さまざまな事態を想定して、学校事故対応訓練や災害時の避難訓練を実施する。 ③日常的な環境整備を徹底し、誰もが安心して過ごせる学校づくりに生かす。